

あ い さ つ



東京外国語大学学長
中嶋嶺雄（国際関係論）

「新キャンパスで初めての外語祭を迎えるにあたって」

本学の永年の懸念であり悲願でもあった府中キャンパスがこの秋にオープンしました。対話と交流をベースに世界に開かれた大学キャンパスを基本コンセプトにして、21世紀の日本を代表するにふさわしい新キャンパスを実現すべく最大限の努力をしてきたつもりであります。補正予算などのお陰で、研究講義棟、付属図書館、大学会館および保健管理センターがほぼ同時に竣工し、新しいキャンパス・ライフが一気にスタートできたことは本学にとって喜ばしいことでした。引きつづきスポーツ施設、クラブ活動施設などの工事が進捗中であります。したがって本学では、キャンパス移転統合とともに、21世紀の本学のあるべき姿を大胆に構想し、実現していく必要に迫られています。

新キャンパスでの初の外語祭がどのようなのか、まだイメージが定まらないところがありますが、本年は特に外語祭を大いに盛り上げてほしいと思います。とりわけ、地域に開かれ、社会に開かれ、世界に開かれた大学という目標に違わぬような交流を深めてほしいと考えています。その意味でも、外語祭

が全学挙げての異文化理解・異文化交流の場となることを期待したいと思います。広く地域の皆様からも喜ばれる外語祭であってほしいと思います。

新キャンパス初の第78回外語祭という本学の伝統ある全学的行事の成功を心からお祈りするとともに、特に期間中は本学の学生にふさわしい自覚をもって、秋のひとときをぜひ有意義に過ごしていただきたいと思います。



2000年

11月19日(日)
~23日(祝)



第七八回

外語祭

外語祭実行委員会